

## 【上智大学 100 周年記念企画・アンコール遺跡とミャンマーの旅報告】

8 月 6 日から 13 日の日程で、石澤先生のガイドで現役生を含む 38 名で旅してきました。



アンコールワットでの記念写真



アンコールワット西参道の sophia-mission 説明(三輪先生)



石澤先生の解説

前半は、カンボジア、シムリアップでアンコール・トム、アンコールワット遺跡、バンテアイ・スレイとシアヌーク・イオン博物館など巡り、274体の仏像が発見されたバンテアイ・クデイでの発掘体験もありました。



発掘体験の風景と田畑先生

そしてカンボジアでのもう一つの目的「カンボジア・ソフィア会」設立総会と祝賀会が開催されました。

(URL 添付)

石澤先生が長年進められてきた教育プログラム「カンボジア人によるカンボジアの遺跡修復と人材養成」の成果を目の当たりにする素晴らしいカンボジア人ソフィアンとの交流会でした。



カンボジアソフィア会設立総会前の石澤先生記念講演会

カンボジアからの留学生たちがカンボジア国内で要職につき活躍している様子や育て上げた石工さんが別の遺跡の修復の為に仕事をしている姿は感動的でした。

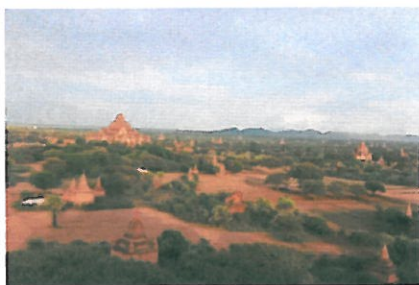


タブロム遺跡の修復で活躍する教え子の石工さん(写真中央)

また現地人材養成研究センターの教員による、現地の子供たちへの教育や根気のいる発掘調査作業を続けている姿に頭が下がります

まさに上智大学の建学の精神を学ぶ旅でした。カンボジアと日本、そして世界の架け橋になる人材が育っていますし、今後も育っていくことを願ってやみません。

そしてミャンマーでは、ヤンゴンから北の古都バガンへ飛び、バガン王朝時代の寺院をはだしになって観光しました。ミャンマーの遺跡群を世界遺産登録へという石澤先生の念願を肌で感じることができました。



日本の大乘仏教とは流れの異なるいわゆる小乗仏教で、厳しい戒律や禁制があっても誰もがお坊さんや尼さんになることにあこがれる世界に、あらためてミャンマーとその歴史への深い尊敬の念を抱きました。

枝川葉子(1972外独)